

部品一覧表

組立を行う前に、次の部品が揃っているかお確かめ下さい。

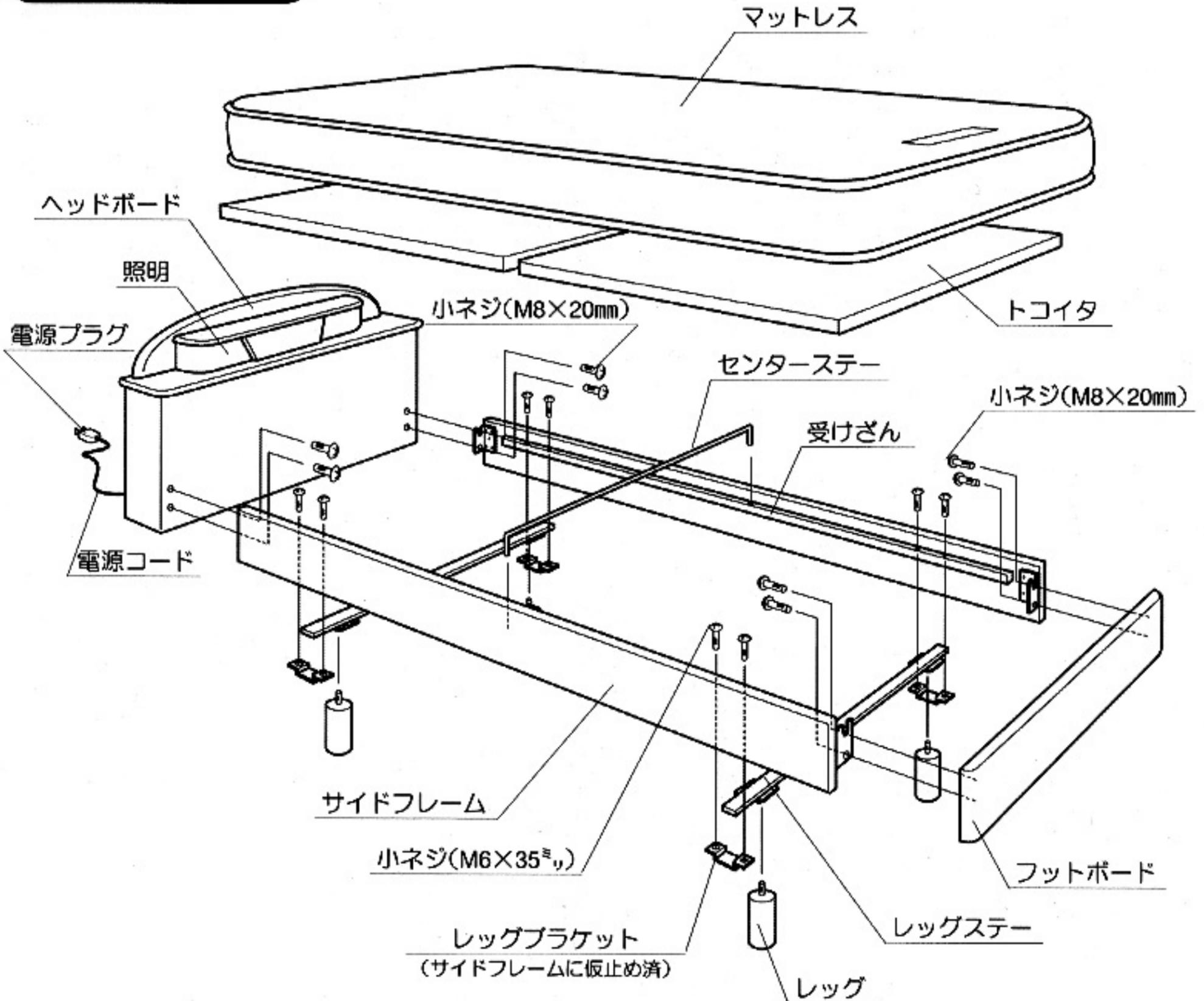
部品名称	部品数	梱包数
ヘッドボード	1	1
フットボード	1	
センターステー	1	
レグ	4	
レグステー	2	
小ネジ (M8×20mm)	8	

部品名称	部品数	梱包数
サイドフレーム	2	1
トコイタ	2	1
マットレス	1	1

No.114156-1



各部のなまえ



型式によりベッドフレームのデザイン形状は異なる場合があります。

組立を行う前に

ベッドを置く位置を決めます

- ・頭側の向きを確認して下さい。
- ・部屋の中でコンセントの位置及び、家具の引き出し、扉等の開閉に支障がないことを確認して下さい。
- ・ヘッドボードは、頭側に置いて下さい。

⚠ 注意

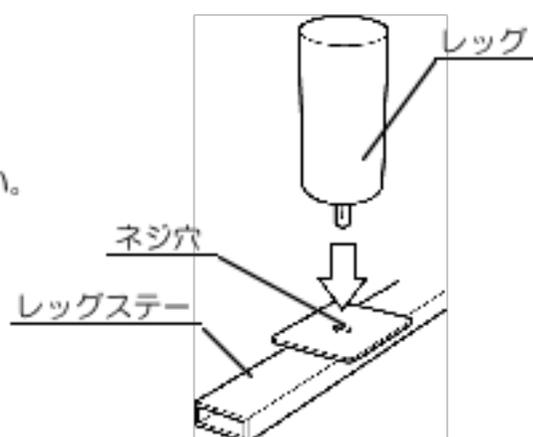
2名以上で組立作業を行って下さい。
ケガをしたりベッドを破損する原因になります。

※ 組立には、プラスドライバーをご用意下さい。

組立順序

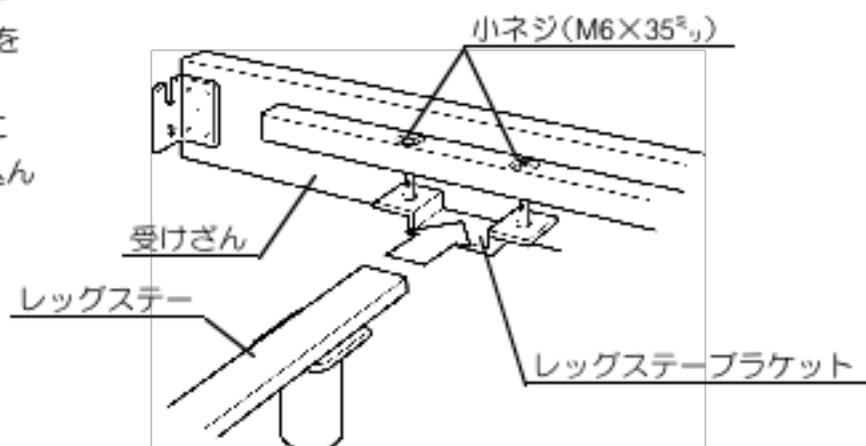
1 レッグをレッグステーに取り付けます

- ・レッグステーネジの穴にレッグをねじ込んで下さい。
- ・レッグ4本共、確実にねじ込んである事を確認して下さい。



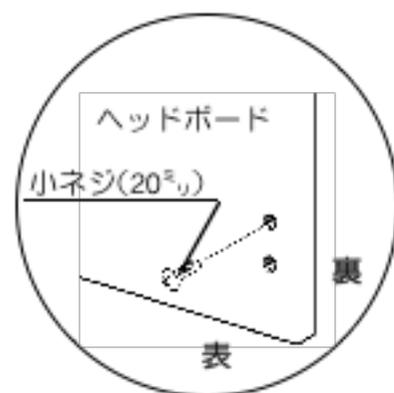
2 サイドフレームにレッグステーを取り付けます

- ・受けざんに仮止めされているレッグステーブラケットの取り付け小ネジ(M6×35^{mm})を緩めて下さい。
- ・受けざんとレッグステーブラケットの間に隙間を作り、レッグステーを隙間に差し込んで仮止めして下さい。
- ・4箇所全て同じ様に行ってください。

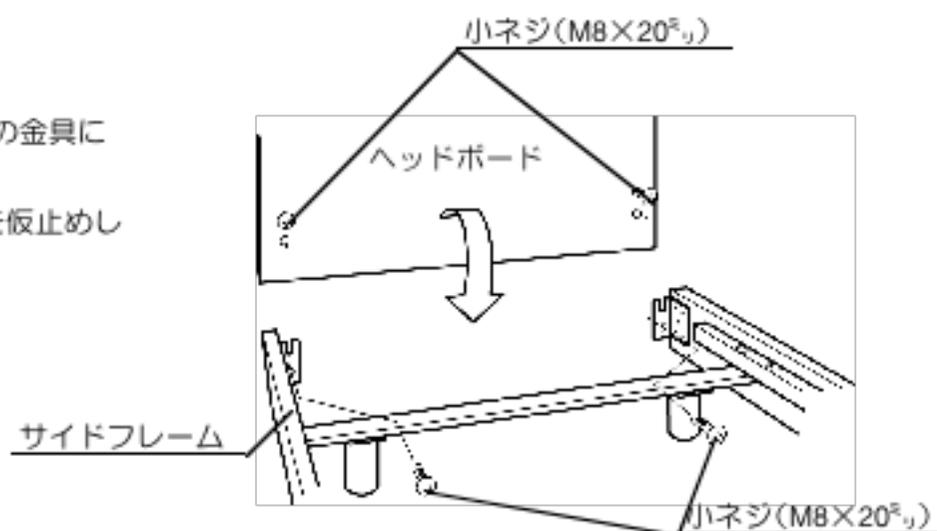


3 ヘッドボードをサイドフレームに仮組みします

- ・ヘッドボード下部のネジ穴(上段)に小ネジ(M8×20^{mm})を仮止めして下さい。



- ・仮止めした小ネジをサイドフレームの金具に引っかけて下さい。
- ・下段のネジ穴に小ネジ(M8×20^φ)を仮止めして下さい。



4 フットボードを、サイドフレームに仮組みします

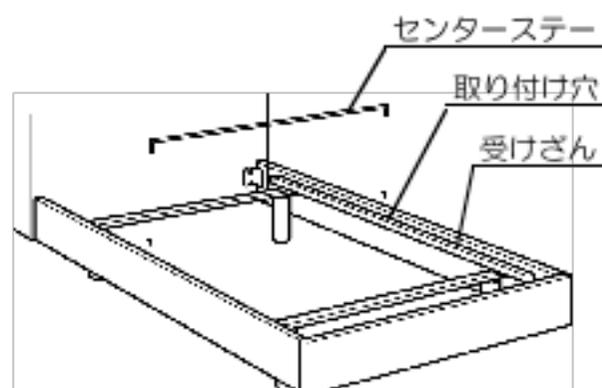
- ・ヘッドボードと同様にして仮組みして下さい。
 3を参照して下さい。

5 小ネジ(計16個)を確実に締付けて下さい

- ・ヘッドボード、フットボード、レッグステー全てが正しく組立られていることを確認してから締付けて下さい。

6 センターステーを取り付けます

- ・受けざん中央部の取り付け穴にセンターステーを差し込んで下さい。



7 トコイタをサイドフレームの受けざんに載せます

- ・トコイタは、中央に寄せる様に載せて下さい。

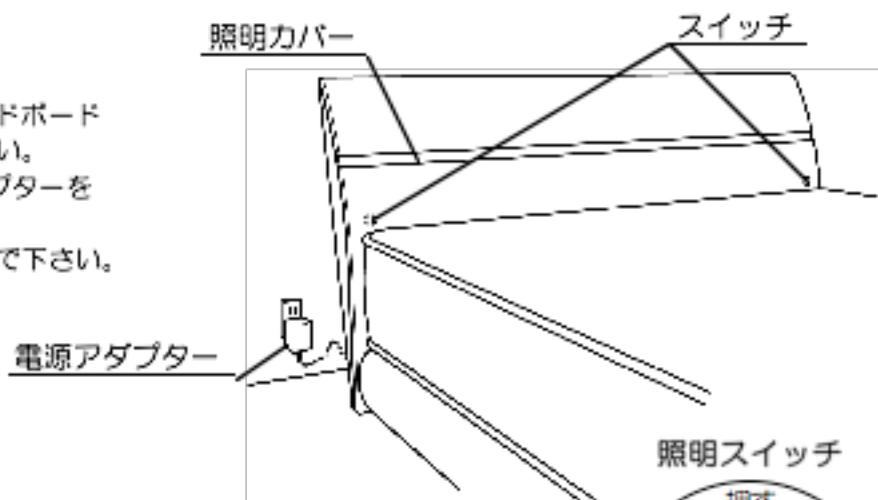
8 マットレスを載せて下さい

- ・以上でベッドの組立は終了です。

照明器具について

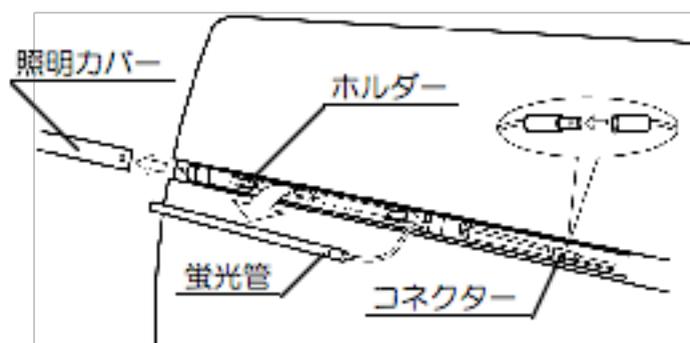
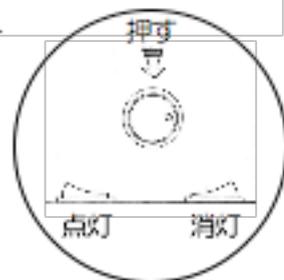
使用方法

付属のAC（交流）電源アダプターをヘッドボード裏面から出ているコネクターに接続して下さい。
家庭用コンセント交流100VにAC電源アダプターを差し込んで下さい。
電源コードが短い場合は延長コードをつないで下さい。



蛍光管の交換方法

- ① AC（交流）電源アダプターを必ず抜いて下さい。
- ② 照明カバーの両サイドにある取付けネジをはずし、照明カバーを横にずらしてはずします。
- ③ 蛍光管からつながる配線がヘッドボードに引き込まれており、コネクターで接続されています。そのコネクターの根元を持って引き抜くようにしてはずします。
- ④ 蛍光管の内部は大変割れやすくなっておりますので、割れないように注意しながら手前に引き出してホルダーからはずします。
- ⑤ 交換用の蛍光管は専門店にてお買い求めいただけますが、お手数ですが弊社お客様相談室にお問い合わせ下さい。有償にて準備させていただきます。
- ⑥ 取り外しと逆の作業で新しい蛍光管を取り付けて下さい。その際、コネクターがしっかりと接続されているか必ず確認して下さい。

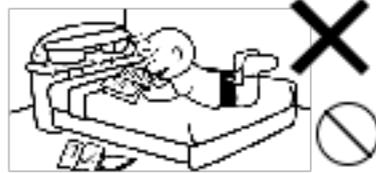


注意

電源アダプターを抜くときは、電源コードを持たずにアダプター本体を持って抜いて下さい。
感電・ショート・火災の原因になります。



この照明は、読書用の照明ではありません。本などは読まないで下さい。
視力低下の原因になります。



電源アダプターや電源コードには、濡れた手で触らないで下さい。
感電する恐れがあります。



蛍光管の交換は、必ず電源アダプターを抜いてから行って下さい。必ず、同じサイズの物と交換して下さい。
感電や火傷をすることがあります。又、容量の大きい物を使うと火災の恐れがあります。



電源アダプターにピンやゴミを付着させて下さい。ゴミ等が付着している場合は、電源アダプターを抜き乾拭きして下さい。
感電・ショート・火災の原因になります。



ベッドを動かす場合や、長時間使用しない時は、必ず電源アダプターをコンセントから抜いて下さい。
絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

